

## 1. インターバンク市場

8/17~8/21の無担保コールO/Nは、大手行、地銀、信託から0.075%前後の調達が見られた。週末は0.07%台後半の出会いが中心となった。また、週を通して複数の業態から試し取りが実施されたため、無担保コールO/N加重平均レートは若干高めでの推移となった。18日は試し取りが重なったことで、加重平均レートは0.083%まで上昇した。ターム物は、大手行から1W0.117%での調達が見られたほか、証券業態のロール案件が散見された。固定金利方式の共通担保オペに関しては、20日に3M・8,000億円でおファーされ、結果は2,691億円(期落ち分2,840億円)と札割れの結果になった。

8/24~8/28は、資金需給上の大きな増減がなく、無担保コールO/Nは引き続き0.07%台半ばの出会いが中心になると予想される。主なイベントとしては、27日の米国GDP改定値、28日の全国CPI等が挙げられる。

## 2. オープン市場

8/17~8/21の短国市場は、品薄感が強い中、18日に1Y物、20日に3M物の入札が行われた。1Y物の入札は、平均落札利回▲0.0257% 按分落札利回▲0.0247%の強い結果となり、セカンダリーでは▲0.07%まで買い進まれる場面も見られた。3M物は、WI取引で▲0.008~▲0.006%の出会いが見られていたこともあり、平均落札利回▲0.0087% 按分落札利回▲0.0059%と事前予想よりも強めの結果となった。予想よりも強い入札結果になったことに加え、落札先が偏ったと見られることから、その後のセカンダリーは▲0.015~▲0.01%と更に強含んで推移した。短国買入オペは、21日に1兆7,500億円でおファーされた。平均落札利回較差+0.010% 按分落札利回較差+0.009%と、1Y物中心に応札されたと見られる結果となった。

8/17~8/21のCP市場は、発行額・償還額ともに総額9,000億円前後の規模となった。鉄鋼・ノンバンク業態等の大型発行案件が実施されるなど、夏季休暇中の発行体が多かった先週に比べ、活況なマーケットとなった。レート水準は、発行残高の積み上がっている期償還物では、発行レートが上昇しやすい一方、期越え物については、ディーラー・投資家のニーズが強く、落ち着いた水準が続いていた。a-1格銘柄では、期内物で0.09~0.105%、期越え物で0.085~0.095%程度となっていた。CP等買入オペは18日に3,500億円でおファーされた。期内物を中心に売却ニーズが強かったことに加え、応札可能銘柄に比較的発行レートの高い銘柄が多く採用されたこともあり、按分落札利回は前回比横ばいの0.085%となる一方で、平均落札利回は前回の0.087%からやや上昇し、0.089%となっていた。

8/24~8/28の短国市場は、27日に3M物の入札が実施予定となっており、引き続き堅調な結果が予想される。28日に実施が見込まれる短国買入オペは9月スタートとなるため、おファー額が注目される。CP市場は、月末発行を含む週となるため、発行案件が膨らむことが予想される。26日にはCP等買入オペが実施される。

## 3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で3,000億円程度の発行超見通し。財政等要因は、9,600億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で12,600億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<24日> TB3M; 償還49,800億円・発行51,000億円/流動性供給5,000億円<25日> 国有林野借入; 期日1,300億円・新規1,000億円 <27日> 40Y; 発行4,000億円/交付税特会借入; 期日10,500億円・新規10,500億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
8/24 (月)	0	△ 9,600	△ 9,600	全店共通 (固) CP買入 ETF買入 国債補完供給	△ 2,800 △ 300 300	2,700 100	0	△ 9,600
8/25 (火)	0	1,000	1,000	国債買入 短国買入		12,000 17,500	29,500	30,500
8/26 (水)	0	1,000	1,000				0	1,000
8/27 (木)	△ 1,000	△ 4,000	△ 5,000				0	△ 5,000
8/28 (金)	△ 2,000	2,000	0	全店共通 (固) 被災地支援	△ 11,300 △ 500		△ 11,800	△ 11,800
週間合計	△ 3,000	△ 9,600	△ 12,600		△ 14,600	32,300	17,700	5,100

(注) 上表の8/24は日銀予想、8/25以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
8/24 (月)			
8/25 (火)		40Y 4,000億円 8/27発行	6月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 7月の米新築一戸建て販売件数 8月の米CB消費者信頼感指数
8/26 (水)	7月の企業向けサービス価格指数 (日銀 8:50)		7月の米耐久財新規受注
8/27 (木)		TB3M 51,000億円 8/31発行	4-6月期の米GDP改定値
8/28 (金)	7月の労働力調査 (完全失業率 総務省 8:30) 7月の全世帯家計調査 (総務省 8:30) 8月都区部・7月全国消費者物価指数 (CPI 総務省 8:30) 7月の一般職業紹介状況 (=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 7月の商業動態統計速報 (経済産業省 8:50)	2Y 25,000億円 9/15発行	7月の米個人所得・消費支出 4-6月期の英GDP改定値

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。